

倉敷商工会議所会報

kurashiki

Kurashiki chamber of commerce & industry

vol.793

1

January
2023

地域と協働 93 年



お披露目会に総勢700人が参加

「ほにや倉敷」満を持してデビュー

「2023年水島港まつりで会いましょう～ほにや倉敷お披露目会～」が令和4年12月17日（土）、倉敷市水島支所駐車場とよさこい大通りで開催され、構想から7年を経てデビューを果たしました。

当日は小雨交じりの中、華麗な演舞を一目見ようと約450人が見学を訪れ、「ほにや倉敷」のほか本家の「ほにや」（高知市）をはじめ、県内外から踊り連8チーム総勢約250人が出演。

ほにや倉敷実行委員会の丸山武司委員長（㈱瀬戸内エンジニアリング代表取締役社長）挨拶の後、倉敷市水島支所駐車場特設ステージでの定置演舞が始まり、「ほにや倉敷」は最終8番目に登場。淡いブルーの鮮やかな衣装に身を包んだメンバー15人が、緊張した面持ちでステージに向かい、音楽が始まると、オリジナルの振り付けとステップで多くの来場者を魅了しました。

引き続きパレード演舞が行われ、よさこい大通りではパレード演舞、総踊りがあり、大いに盛り上がりました。

会場を訪れた倉敷市の60代女性は「とても迫力があって見に来て良かった。来年の水島港まつりも楽し



淡いブルーの鮮やかな衣装で演舞を披露

み」と話していました。

「ほにや倉敷」は高知のよさこい踊り人気チーム「ほにや」がプロデュースし、令和2年3月に水島よさこいを象徴するチームとして結成。令和2年の水島港まつりでお披露目される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため中止されました。令和4年9月に活動を再開し、メンバーは現在、中学生から50歳代の女性16人が所属しています。



本家「ほにや」と一緒にパレード



小雨の中で見守る多くの来場者



開会挨拶する丸山委員長



緊張の面持ちでステージに向かうメンバー